



令和8年4月25日発行
★議会活動をわかりやすくお伝えします

がいぎかい



今月の見どころ

【特集】輝く仲間たち	2 ページ
令和8年 第1回定例会	4 ページ
市長施政方針	4 ページ
こんなことが決まりました	5 ページ
当初予算関係	8 ページ
ここが聞きたい 一般質問	10 ページ

特集 輝く仲間たち (第25回)

毎回、市内で頑張る方々に登場していただきます。
今回は、「富竹新田3区自主防災会」です。

「ためらわず 命を守る行動を」

富竹新田3区自主防災会とは

2018年4月に自主防災会を創設、防災士5名、地域防災リーダー6名、推進委員22名で活動しています。住民の隣保協同の精神に基づき、自主的な防災活動を行うことにより、地震、水害、その他の災害による被害の防止と軽減を目的としています。

活動内容は

活動内容は大きく5つあり、一つ目が防災知識・技術の普及、並びに防災意識の啓発に関する活動、二つ目が地震等災害による被害を防ぐための活動、三つ目が地震等災害発生時の情報収集・伝達、初期消火、避難誘導、救出救護、四つ目が防災訓練の実施に関する活動、五つ目が、防災資機材等の点検及び整備に関する活動を行っています。

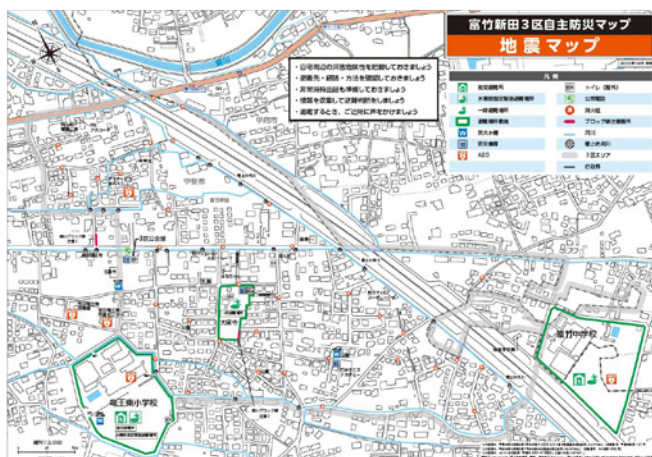
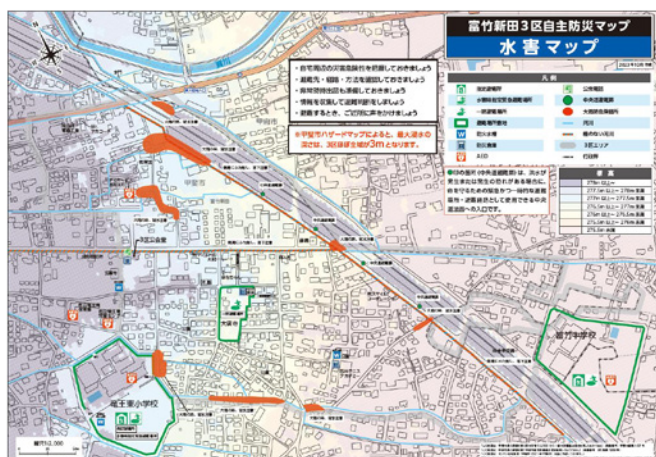
マップ作成の目的と経緯

富竹新田3区が地震や水害に見舞われたとき、被害を防ぎ、避け、また避難の際に区民に知ってほしいことを一覧にしたマップを作成しました。マップを作ったのは、富竹新田3区自主防災会です。防災会は、地域の防災・減災に関心のあるメンバーが集まって組織するグループです。

防災・減災のため、まず地域のことを知ることから始めようと、富竹新田3区を見て回る「まち歩き」を続けてきました。主な施設や注意場所等をピックアップし落とし込んで地震マップと水害マップを作成しています。



自主防災マップ説明会



防災マップ説明会

富竹新田3区全家庭（500世帯）に「防災マップ」を配布後、説明会を開催しています。区内では、毎月1回有価物回収を行っており、回収当番は各組を12か月に分けて1年に1回必ず回ってくるので、その際に説明会を開催しています。日頃の備えの大切さを知ってもらい災害時に役立ててもらいたいです。

自主防災会、学習会について

定例で毎月1回有価物回収の日の10時から12時、公会堂で学習会を実施しており、自助・共助など近所の必要性や大切さについて学んでいます。

また、防災訓練や情報交換を通じて、地域の防災力を高め、災害時に救助が来るまでの、自分や近所の助け合いの準備、日常のコミュニティづくりや人間関係の強化などを行っています。

さらに、地区内の危険個所の確認などのまち歩き、地区防災マップの作成、更新維持。防災関連設備、備品の維持管理。防災関連知識の学習会（内部学習会や外部施設見学・体験）なども行っています。



街歩き



自主防災マップ作成



学習会の様子



災害時に玄関先等へ掲げるタオル

富竹新田3区自主防災会から

突然襲ってくる自然災害から逃げることはできませんが、備えることはできます。このマップを使って、皆さんのご自宅の周りがどんな地域でどんな危険が潜んでいるか。避難場所はどこか。避難所までどう逃げたらいいか。家族や近所の方々と話合せて、できれば実際に歩いてみてほしいと思います。

能登半島地震では、亡くなられた方の多くが、倒壊家屋などの下敷きになったことによる「圧死」でした。まずは倒壊を防ぐ方法、家具の固定など、できることから始めてほしいです。

備えは「できることから少しずつ」が良いと思います。備えるという心構えが、今日襲ってくるかもしれない災害から、自分の、家族の、ご近所の命を守り救うことにつながると考えます。

防災さんく。情報誌

防災会では、年に3回情報誌を発行し、全戸配布しています。



令和8年 第1回定例会

定例会の あらまし

第1回定例会は、2月27日から3月19日の21日間の会期で開かれ、市長から補正予算および条例の制定など39議案が提出されました。
今定例会の一般会計の補正予算額は12億7,102万3千円で、主な内容は、保育所等を利用する子どもたちに係る施設運営費や国の補助金の内示に伴う道路整備工事等に係る増額などで、すべて原案のとおり可決されました。

副市長

任期満了(令和8年3月31日)に伴い、次の方の選任に同意しました。(※敬称略)

・丸山 英資

人権擁護委員

任期満了(令和8年9月30日)に伴い、次の方々の推薦に対し、同意しました。(※敬称略)

・堀井 昭 ・志村 俊光

市長施政方針

去る2月8日には、衆議院議員総選挙が執行され、国の進路について国民の意思が示されたところであります。

本市といたしましては、今後の国政の動向を注視しながら、引き続き、市民の皆様の安全・安心な暮らしを守るため、国や県と協力し、また、民間の力も取り入れながら、持続可能なまちづくりに取り組んでまいりたいと考えております。

また、本市では、市政運営の総合的な指針となる「第3次甲斐市総合計画」に基づき、令和7年4月からの5年間を計画期間として、各施策を展開しております。「緑と活力あふれる生活快適都市」の将来像実現に向け、市民の皆様が笑顔と元気で暮らせるまちづくりに尽力する所存であります。

令和8年度の予算編成にあたりましては、政策課題の着実な推進と健全財政の堅持を基本に、施策の選択と集中を図ったところであります。



甲斐市議会だより(かいギカイ)では、第1回定例会の主な内容をピックアップして、掲載しています。
また、議会ホームページで録画映像を配信していますので、こちらもぜひご視聴ください。



甲斐市のこんなことが決まりました

主な内容をピックアップしてお知らせします

議員報酬、市長などの給料を増額

議案第12号 甲斐市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正の件

議案第13号 甲斐市の市長等の給与等に関する条例の一部改正の件

全国の人口規模が同程度の自治体との比較や近年の議員のなり手不足、現下の物価高騰等を勘案した市議会議員の報酬額及び、市長、副市長、教育長の給料額の適正額について、甲斐市特別職報酬等審議会に意見を求めたところ、職責の重要性や職務の困難性等を鑑み、増額すべきとの答申内容であったため、議員報酬月額ならびに市長などの特別職の給料月額を増額しました。内容は以下の通りです。

	議長	副議長	議員	市長	副市長	教育長
改正前(R8.3まで)	410,000円	370,000円	360,000円	800,000円	640,000円	570,000円
改正後(R8.4から)	450,000円	420,000円	400,000円	850,000円	690,000円	620,000円

議案第12号 甲斐市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正の件

賛成討論

若尾 彰子 議員

この条例の一部改正につきましては、市議会議員報酬の額について審議する甲斐市特別職報酬等審議会が開催され、当審議会の答申内容に従い改正するものである。

近年の地方議会は、全国的に議員定数に満たない自治体が存在するほか、無投票当選者が増加傾向にあるなど、地方自治の根幹である二元代表制の趣旨が薄れゆく状況にある。

また、現下の物価高騰は、日常生活への負担を大きくしているだけでなく、議員活動として行う調査研究や、資料作成、研修への参加などにも影響を及ぼしている現状がある。

したがって、昨今の議員のなり手不足の改善が期待できるとともに、民意を市政に反映させるための活動や、行政の監視役として更なる知識などを身に付けていくためには、審議会の答申結果を尊重した、議員報酬の増額が必要と考えるため、甲斐市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正の件につきましては、賛成とする。

反対討論

松井 豊 議員

本件に対する反対討論として、次の2点について指摘する。

まず1つ目の理由は、最近の物価高は著しいものがある。

それに対する国、県、市町村の対策については、極めて不十分な状況である。

この中で、市民の納得が得られるとは考えられない。

次に2つ目の理由は、私の任期の間に、2回の議員定数が削減され、それに伴って、報酬の引上げが行われたが、その都度市民の方から言われるのは、議員さんというのは一体1年に何日ぐらい働いてるんですかという質問です。

常勤職員と違うため、比較は出来ないところもあるがやはりそういった市民の意見、感情というものは無視は出来ないところがある。

以上2点指摘し、反対討論とする。

議案第13号 甲斐市の市長等の給与等に関する条例の一部改正の件

賛成討論

金丸 幸司 議員

市長、副市長及び教育長の給料の額について審議する甲斐市特別職報酬等審議会が開催され、当審議会の答申内容に従い改正するものである。

近年は、経済情勢が回復局面へと移行し、民間の雇用状況や所得環境の改善に繋がっていることから、地域ごとに差異はあるものの、全国的に賃金水準の上昇が見られている。

また、県内で有数の人口を有する本市にあっては、特別職が担う義務や責任は極めて重大であるとともに、引き続き取り組む、地域の活性化や安全安心なまちづくり、市民サービスの向上などを主導していく特別職にあっては、その重責に見合った給料が必要である。

したがって、昨今の景気動向などを踏まえ、審議会の答申結果を尊重するとともに、本市の更なる発展に向けた特別職のリーダーシップを期待し、賛成とする。

反対討論

松井 豊 議員

甲斐市の市長等の給与等に関する条例の一部改正の件について、議案第12号の議員報酬の一部改正と同じように、物価高騰が引き続き先が見えない状況にある中で、また、国際情勢から、石油などの値上げも予想される。

具体的な市民に対する物価高騰対策が、国・県・市町村とも到底十分とは言えない状況である。

そのような中で、市長等の報酬を引き上げるのは、いかがなものかと考えるため、反対討論とする。

子ども・子育て支援納付金が創設されます

議案第14号 甲斐市国民健康保険税条例の一部改正の件

国は、少子化対策における財源を確保するための「子ども・子育て支援金制度」を、令和8年度に創設するため、保険者（甲斐市）は従来分の国民健康保険税とあわせて「子ども・子育て支援納付金」を徴収し、国に納付することになります。

本市の国民健康保険税は、国民健康保険医療制度に係る「医療分」、後期高齢者医療制度に係る「後期支援分」、介護保険制度に係る「介護分」の3つの区分に構成されていますが、これに加え、子ども・子育て支援金制度に係る「子ども・子育て支援納付金分」（所得割、均等割、18歳以上均等割、平等割）が追加され、4つの区分となります。

詳しくは市ウェブサイトをご覧ください。

※市ウェブサイトはこちら ▶



議案第14号 甲斐市国民健康保険税条例の一部改正の件

賛成討論

保坂 康 議員

国民健康保険は、高齢者や低所得者の加入が多く、今回の改正は、子ども・子育て政策の給付拡充を図るとともに、若い世代の方々が将来に見通しを持てるよう安定した財源を確保する必要があるため、少子化対策に受益を有する全世代・全経済主体に医療保険の保険料とあわせて、拠出していただくものである。また、新たに創設される子ども・子育て支援金分の税率等では、従前の医療分・後期支援分・介護分と同様の軽減を実施し、低所得者へも配慮されていると考える。更に、年々減少する国民健康保険財政調整基金に依存しないこととしている。

今回の改正は、国の子ども・子育て支援法等の改正に伴うものであり、地方自治体にとっても、必要な改正である。

今後も、国保財政の安定が図れるよう、また、安心して医療を受けられる国民健康保険制度を維持するため、より一層の努力を要望し、賛成討論とする。

反対討論

谷口 和男 議員

国民健康保険税条例改正は、大きな問題があります。

まず、第一に子育て支援を国民健康保険（特別会計）から支出します。国保税は医療行為にのみ使用されるべきです。

第二に、国民健康保険の加入者は、年間所得200万円以下の方が75%以上を占めており、現在の保険税でさえ大きな負担です、今以上の負担は無理です。

第三に、令和8年度は一人250円の負担ですが、今後さらに増え続けます。

第四に、甲斐市の国保会計の財政状況です。3年前約11億円あった財政調整基金が、現在は約7億円です。何年後かに、保険料の値上げも考えられ、加入者は際限のない負担増に苦しみます。生活困窮者が大幅に増えてしまいます。今以上の負担増は看過するわけにいきません。

以上、反対討論とします。

ドラゴンパークの整備事業

議案第16号 不動産購入の件
議案第34号 不動産購入の件

ドラゴンパークの整備については、イベント等での駐車場不足の解消や、災害時の一時避難地としての避難スペースの確保のため、駐車場拡張整備を主軸に、仮設住宅建設予定地となっている公園内芝生広場への資機材の搬入路の整備、花壇の改修工事を進めています。



国の交付金を活用し指定避難所の生活環境を改善します

議案第33号 令和7年度甲斐市一般会計補正予算(第9号)

国の補正予算において、災害にも対応できる魅力的な地域づくりを目指す地方公共団体の取り組みに対して緊急的に支援することを目的に、地域未来交付金(地域防災緊急整備型)が創設されました。本市ではこの交付金を活用し避難所の暑さ・寒さ対策として移動式の冷暖房機器のスポットクーラー77台とジェットヒーター10台を整備します。

停電時の電力供給手段の多様化を図るため、市が所有する公用車の電気自動車に蓄電された電力を活用し、電気機器へ供給するために、可搬型外部給電器5台を購入し、避難所における快適な生活環境のさらなる向上を図ります。

敷島南小学校グラウンド改修工事を予定します

議案第33号 令和7年度甲斐市一般会計補正予算(第9号)

敷島南小学校グラウンドは、周辺地域への砂ぼこりの飛散や、大雨時には排水機能の低下による水たまりが発生し、雨水が流れた跡が残り、不整形な状態となることがありました。

良好なグラウンド環境にするため、比重が大きく、保水性、透水性にすぐれた土への入れ替えと、新たにグラウンド内の外周へ浸透側溝を設置します。

令和9年3月に完了予定となっております。



甲斐市で頑張る皆様の活動を紹介してみませんか？

特集「輝く仲間たち」として、市内で活動している方(団体)を、年齢・性別・職種等を問わず、活動内容を掲載しています。

詳しくは、市議会ホームページまたは、議会事務局まで問い合わせください。

甲斐市議会事務局 議事運営係
TEL 055(278)1673



甲斐市議会だよりNo.86

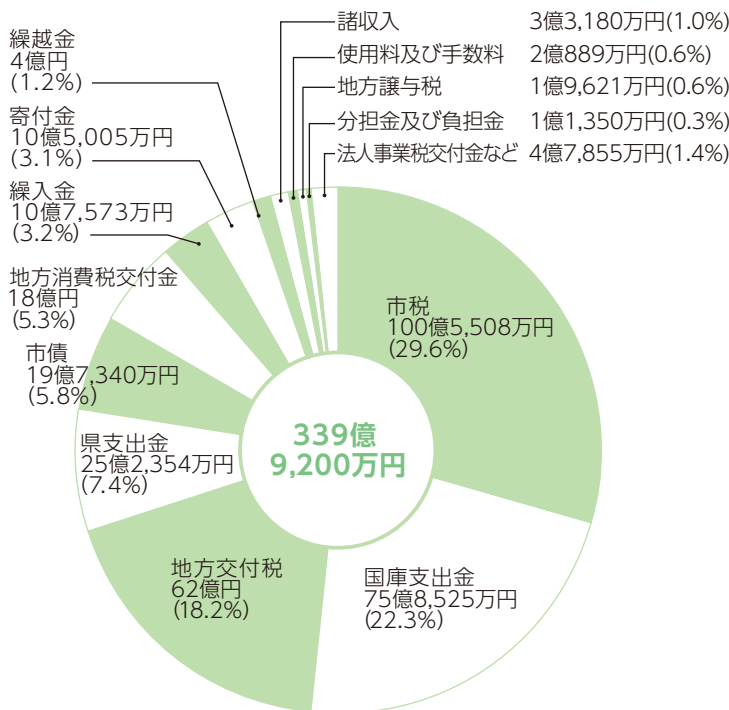
こんなことが決まりました

令和8年度予算

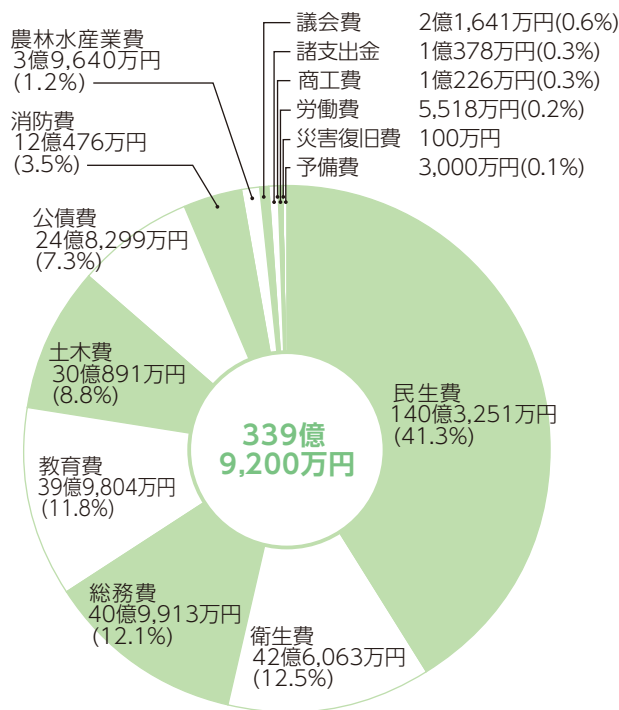
一般会計当初予算 過去最大339億9,200万円

令和8年度一般会計当初予算は、委員18人による予算審査特別委員会（委員長 清水和弘 議員、副委員長 保坂康 議員）を設置し、3月10日から17日までの延べ5日間審査を行い、討論の末、可決となりました。

歳入



歳出



議会からの要望に対する予算計上

総務常任委員会 / 庁内DXの推進について

新規事業として税公金収納ステーションを導入し、支払窓口等のデジタル化を進めるとともに、行政専用のネットワークシステムにおいて、利用できる生成AIを導入し、業務の効率化・省力化を推進するなど、DX推進事業として6,393万円計上されました。

厚生文教常任委員会 / 公立保育園のICT化について

公立保育園のICT化事業については、保育士の事務負担を軽減し、より質の高い保育環境の充実を図るため、ICT機器の追加導入などの経費として、昨年より増額し397万1千円計上されました。

まちづくり環境常任委員会 / 道水路の小改良・小補修工事の実施強化について

道路及び水路の小改良及び小補修工事の実施強化については、地域の実情に応じた、きめ細やかで、迅速な対応の強化に努められるよう、道路維持改良事業費に5,712万9千円、河川維持改修事業費に2,350万円計上され、昨年度より増額となりました。

どう使う？新年度予算

主な内容は次のとおりです。

学校給食の無償化

国の方針に基づき、今年度から公立小学校の学校給食費を無償とし、本市の独自施策として、公立中学校においても無償とするほか、私立小中学校に通う児童、生徒の保護者に対しても学校給食費の補助を実施します。

併せて、公立及び私立の保育所等へ通う3歳児以上に対する主食及び副食費、また児童発達支援等を通所利用する際の昼食費についても実質的に無償化します。

しのはら公園体験学習施設「かいのび」

愛称を募集し3,456点のご応募いただき、市で選定した5つの最終候補を対象にウェブ投票を実施しました。

その結果、最も多く投票いただいた「かいのび」を愛称として採用することとしました。令和9年3月開業に向けて現在、建築工事、整備工事を進めているところです。

福祉・子育て支援施策

近年複雑化、多様化する生活課題に対応するため、令和6年度より移行準備を進めてきた重層的支援体制整備事業について本格実施します。関係機関と連携し、包括的かつ重層的体制を構築します。

すべての子育て家庭に対する支援の強化を目的に、今年度から「こども誰でも通園制度」を実施します。

乳児の疾病及び異常の早期発見等に資するため、従来の乳児一般健康診査に加え、新たに1か月児健診を実施していきます。

災害対策整備事業

地域防災計画の改定に伴う想定避難者数の増加に対する備蓄量の拡充を図るため、双葉集出荷所を防災備蓄倉庫と救援物資集積所を兼ねた施設として活用するため改修工事設計委託を進めていきます。

また、防災DXの推進を図るため、新たに雨量計などの気象観測システムを導入します。

一般会計当初予算について討論がありました

賛成討論

安倍 健治 議員

物価高、労務単価等の上昇による影響が大きい状況でありながらも、健全な財政運営を維持しつつ、政策課題の着実な推進に向けた予算編成が行われたものと判断する。

さらに、令和8年度中の完成を予定している「次世代へつなぐ創造の森」をコンセプトとした「しのはら公園」の整備、「山梨いちごの王様ミュージアム」の開業を契機に、地域経済の活性化を図る「AKAI KAW All PROJECT」の展開、市道及び河川・橋梁の改良に加え、災害時に備えた、防災備蓄倉庫と救援物資集積所を兼ねた施設整備に取り組むなど、市民生活の発展と、安心安全なまちづくりに考慮した予算でもある。

今後についても、健全財政の堅持を基本としつつ、多様化する市民ニーズを的確に捉え、市民の皆様が、安心・安全に暮らせるまちづくりを推進するとともに、施策の選択と集中を行いながら、より一層、効率的・効果的な行財政運営に努めるよう期待し、賛成討論とする。

反対討論

谷口 和男 議員

本予算は歳入歳出とも、339億9,200万円であり、過去最高額の予算です。特筆すべきは、学校給食費無償化が本予算に計上されたことであり、大いに歓迎します。ただ、経費の面から次の点を指摘します。

まず第一は、公共施設の問題です。現在、甲斐市が廃止しようとしている公共施設は、築40年に満たず、利用者の多い施設です。定期的な修繕を行い活用すべきです。新築しようとするれば、高額な経費が掛かります。長寿命化で対応すべきです。

第二は、安易な統廃合の問題です。玉幡公園総合屋内プールと釜無川レクリエーションの統廃合では、令和6年3月の玉幡プール天井板落下事故から2年以上経過しましたが、今だに修繕工事さえ始まりず再開は令和9年10月予定です。時間と経費の浪費です。市民要望のない統廃合は控えるべきです。

第三は、甲斐市では、竜王駅北口の土地を購入するなど新たな開発も予想されます。新たな施設の建設経費はなるべく抑え、老朽化し市民から改善要望の強い水路改修、浸水等の防災対策、道路整備など社会インフラ整備を進めるべきです。

第四は、市民を守るための姿勢が薄いことです。

以上、反対討論とします。

一般質問

こ こ が 聞 き た い

第1回定例会では、8人の議員が一般質問を行い、2日間にわたり活発な議論を展開しました。質問と答弁を要約した内容は、次のとおりです。

なお、市議会ホームページで、一般質問の録画映像を配信していますのでご覧ください。

録画映像のQRコードは
こちら ▶



甲斐市議会 議会中継

検索

一般質問の詳細な内容については各議員のQRコードからご覧いただけます。

一般質問とは、行政全般にわたり、議員個人が執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め、または、疑問を質すことをいいます。



保護猫・地域猫活動へのサポート

Q 保護猫・地域猫活動については、ボランティアを頼りにするのではなく、行政が行うべきという意見があるが、どのように考えるか。

A 保護猫については、動物の愛護及び管理に関する法律で、都道府県等が引き取りを行うことが規定されており、本市としては、管轄する山梨県動物愛護指導センターの協力を得る中で対応している。また、地域猫活動については、地域の問題として、地域住民が合意の下に、主体的に取り組むことが望ましいことから、行政としては、直接的に実施するのではなく、地域猫活動を行う地域、団体等の支援に取り組んでいきたい。

Q 地域猫活動は住民の理解が必要で、個人が住民の理解を得るために地域を回るのも難しい。行政がサポートするべきと考える。理解を得るために広報、ホームページなどで

もっと地域猫活動を周知したらどうか。

A 本市では、市ウェブサイトにて「飼い主のいない猫対策ガイドブック」を掲載し、地域猫活動に関する周知を行っている。今後も、地域猫活動をはじめ、飼い主のいない猫に関する様々な問題等の解決に向け、市民の一層の理解を得るため、ウェブサイト内での情報の充実を図り、周知・啓発に努めていく。



その他質問項目

- 防災のための空き家解体
- 積み残し案件の市民への周知



学校給食費無償化を急げ

Q 施政方針で学校給食費無償化が表明された。私は、学校給食費無償化をめざす会の事務局として、市へ要請・署名・質問状を送り運動してきた。国の交付金は小学生のみ月5200円だが、それ以上は甲斐市が負担してくれるのか。

A 本市の小学生給食費は、月6130円なので、差額930円は甲斐市が負担する。

Q 「給食費負担軽減交付金」は小学生に5200円だけだが、中学生・保育園の給食費・保育料はどうなるのか。

A 中学生は先ほどの答弁通り無償とし、保育園は、4月から公立保育園で主食を提供し、主食副食費とも無償とし甲斐市が負担する。3才未満児の保育料は、第2子以降無償としているが、第1子も含めた無償化には財源を確保する必要があることから、調査・研究を進めていく。

Q 国の給食費無償化への姿勢は消極的であり、本年度も小学生の給食費の負担だけだ。甲斐市では、中学生の給食費無償化を継続しながら、国に助成を求めるべきではないか。

A 現在の国の制度では、国の支援対象で中学生は含まれていないが、本市では無償化し国に助成を求めていく。



その他質問項目

- 甲斐双葉発電所の木質バイオマス発電事業の現実について
- 玉幡公園総合屋内プール再開にむけて
- 市職員の待遇改善と人材確保を





高齢者の現状と対策について

Q 甲斐市第10次高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画で最重要項目及び取り組みは。

A 今期計画では、6つの基本目標を設定し、生きがいづくりや介護予防、認知症対策、介護保険事業の適正な運営等の施策に取り組んでいる。

Q 認知症予防対策も重要であり、本市の具体的対策は。

A いきいきサロンや老人クラブ等を対象に地域の公民館などに出向いて行う「幸齢者のためのからだKAIてき講座」や認知症サポーター養成講座等を行い知識の啓発を行う。

Q 思わぬ怪我、急病、手助けなど、予期せぬ事が発生した時にSOSの救助信号を出すシステムはあるのか。

A 緊急を要する病気等がある方を対象に、速やかな援助支援ができるよう、24時間ボタン一つで通報することができる緊急通報システムを設置する事業を実施している。

Q 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業でフレイル予防の為に健康教室や健康相談内容は。

A フレイル予防の健康教育を行い、個別に健康相談を実施し、依頼者からの要望を取り入れながらテーマに応じた専門職を派遣して、参加者からは内容も分かりやすく、ちょっとした疑問も質問しやすく、好評をいただいている。



その他質問項目

- 今日における地域コミュニティの弱体化
- 自治会へ加入促進の進め方
- 本市も将来を見据えて理念条例を制定しては
- 将来に向けての行政運営をどのように進めていくか



学校現場における教員の業務適正化について

Q 教員が働きがいを持って教育に専念できる環境づくりについて伺う。

A 教員が心身ともに健康で、意欲や熱意をもって教育活動に専念できる環境の確保は、教育の質の向上に直結する重要な課題であると認識しております。本市では、学校教育支援員や部活動指導員の配置など人的支援の充実に加え、校務支援システムの活用や学校閉庁日の設定など業務改善を進めてきました。今後は実施計画に基づき、学校・行政・保護者・地域が連携し、教員の業務環境の改善に取り組んでいくこととしております。

Q 休日部活動の地域展開は、教員の業務適正化と子供たちの活動機会を将来にわたり守る重要な取り組みです。一方で、地域指導者の確保や運営体制、財政面など課

題もあります。学校現場の声を踏まえ、持続可能な制度としてどのように進めていくのか伺う。

A 急激な少子化が進む中でも、将来にわたって生徒が継続的にスポーツや文化芸術活動に親しむ機会を確保し充実させる必要があります。学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させ、学校と連携しながら、地域全体で支える体制の構築を図って参ります。



その他質問項目

- カスタマーハラスメントについて



人生の最終段階までささえあう地域づくりへの取り組み

Q 重層的支援体制整備事業の目指す方針と進捗状況について。

A 複雑化・多様化する課題に対して、既存の支援を活かしつつ横断的につなぐことを目指す。令和6年度より福祉課に専門職を配置し、関連部署の研修会を実施。令和7年度からは一部を社会福祉協議会へ委託、ちよっくら相談KAIを実施。

Q 国からの交付金削減の方針が示され、本市への影響は。

A 令和8年度実施予定の事業については、影響はないと考えている。さらなる見直しの場合には、事業実施への影響を懸念している。

Q 将来の医療やケアについて家族や医療介護の専門職と考えを共有し、意思決定を支援するACPに対しての本市の認識と取り組みは。

A 自分の価値観、大切なこと、もしもの時の希望を書き込める「わたしの想いノート」を活用するための研修会を医療・介護の専門職向けに実施。近隣市町とともに地域住民向けの研修を実施。

Q 地域包括ケアシステムにおける人生の最期に向けた取り組みと課題について。

A 医療介護のネットワーク、地域のつながり、ささえあい体制づくりに取り組む。人生の最期に向けた取り組みでは、本人の意思確認や多職種との連携・協働のあり方が課題と考える。



その他質問項目

- 市職員の人材確保、キャリア形成への取り組み





学校給食の現状について

Q 学校給食の補助をどのような推移で行ってきたのか。

保坂 康 A 物価高騰に伴う給食費の改定により保護者負担額が増加しないよう、令和2年4月から給食費の補助を実施してまいりました。当初は小中学校共通で1食あたり17円、月額では300円を補助しました。その後、さらなる食材費の上昇に対応するため、令和4年9月に補助額を見直し、1食あたり小学校では30円、中学校では40円の増額をしました。これにより現在は、小学校で1食あたり47円、月額では830円、中学校では1食あたり57円、月額では980円の補助を行っています。

Q 学校ではどのような食育の指導をしているのか。

A 小中学校における食育は、健康な心身の育成、食文化や地域産業への理解、そして望ましい食習慣の形式等をねらいとして取り組まれています。具体的には、給食時における食材の産地紹介や、郷土料理の提供による地域社会の食文化の紹介、望ましい食事のマナーの指導などを行っており、学校給食が生きた食育となっている。また、教科の学習として、栄養バランス、消化のしくみ、野菜づくり体験など様々な教科にまたがり食育が位置付けられ、教育活動全体を通して取り組まれている。



Check!

録画映像のQRコードはこちら ▶



広域農道全通に伴う市中北部の振興について

Q 市の面積の半分を占める中北部は政策的にも手つかずのままであり、農林業・環境・観光面からも本格的な振興策が求められる。広域農道全通の時期と長瀬橋開通の時期について伺う。

A 県によると茅ヶ岳東部広域農道は一部の工事において、新たな課題が生じたことから、令和7年度中の完成が見込めない状況ですが、県から開通時期が示され次第、報告します。また、県道甲府昇仙峡線にかかる長瀬橋は、令和12年に事業完了と聞いています。

Q クラインガルテン、矢木羽湖等の発展的活用、新たな施設等の計画、民間施設等との連携について伺う。

A クラインガルテンの指定管理者であるゆうのう敷島が中心となり、体験事業やバーベキュー施設の貸出など

各種事業を展開しており、新たな施設計画はないが、矢木羽湖周辺での民間事業者が約1haの醸造用ブドウ栽培のため農地の貸借手続きを進めている。

Q バイオマス発電の発電量と熱利用について、また木材の活用状況(全体量と市内の木材活用状況)について伺う。

A 年間発電量は約5,460万kwhで、木材総量86,160tで、内市の調達量は431t(0.5%)です。



その他質問項目

- 防災リーダー全体の定期的研修・経験交流は
- 災害弱者(独居老人・障がい者等)への対応は
- クマを含む鳥獣害対策実施隊への補助金は
- 物価高騰で障がい者就労に市の独自支援を



真冬の超短期決戦について

Q “多党化”によって、市民も各々の支持政党を応援している。そんな中、「市長」が“特定政党候補者”の“選対本部長”を務めたことに、多くの市民が疑問を持っているが、この点を説明してほしい。

A 今回私は、政治家として、市の事務執行である「公務」ではない。政治活動の一環として、このたびの国政選挙において候補者の選挙対策本部長を務めたところであり、政治家の活動は、選挙を通じて住民の皆様の声に政治に反映させることにあります。地方の声を国政に届ける上で、政治家として判断し、行動しました。

Q “市長”としての“公務”と“政治家”としての私的な立場は、市民から見たら一体のものであり、都合よく棲み分けはできないと思うが、見解を伺う。

A お答えいたします。市長は元来、行政の長としての立場と、選挙を経て当選するため、政治家としての立場の二面性があります。公務との棲み分けについては、市長公室秘書課において適切に確認及び管理をしております。

Q “地方の声を国政”につなげるには“中立的な立場”に居たほうがより効果はあるかと思うが、見解を伺う。

A ご意見として承知いたします。その都度判断します。



その他質問項目

- 前回から1年3か月の解散をどう感じたか
- 「私が…」というのは、論理的に無理では?
- 不登校の現状を伺う
- 子どもの発達に“AI”が及ぼす影響について



各種団体と意見交換を行いました

議会改革の取り組みの一環として、各種団体の課題や現状、また、今後の取り組みや市への要望など把握し、市当局への提言および政策形成を行うため、各常任委員会と各種団体において、意見交換会を実施しています。今年度は次の団体と意見交換会を行いました。

● 総務常任委員会

日程 令和8年1月15日

団体 甲斐市地域防災リーダーネットワーク

7名の会員の皆さんに出席していただき、「甲斐市地域防災リーダーネットワーク」の現状や活動内容について説明していただき、定例会や防災の研修、能登半島地震での被災の経験などについて意見交換を行いました。



● 厚生文教常任委員会

日程 令和8年1月20日

団体 甲斐市社会福祉協議会

会長および副会長をはじめ、職員の皆さん8名に出席していただき、「甲斐市社会福祉協議会の概要、食料等支援と子ども食堂について」の説明をしていただき、活動状況や市に対しての要望など活発な意見交換を行いました。



● まちづくり環境常任委員会

日程 令和8年1月19日

団体 甲斐市鳥獣被害対策実施隊

隊長代理をはじめ実施隊の6名の皆さんに出席していただき、「甲斐市鳥獣被害対策実施隊の現状と今後の取り組み等について」の説明や、市に対しての要望や現況について活発な意見交換を行いました。

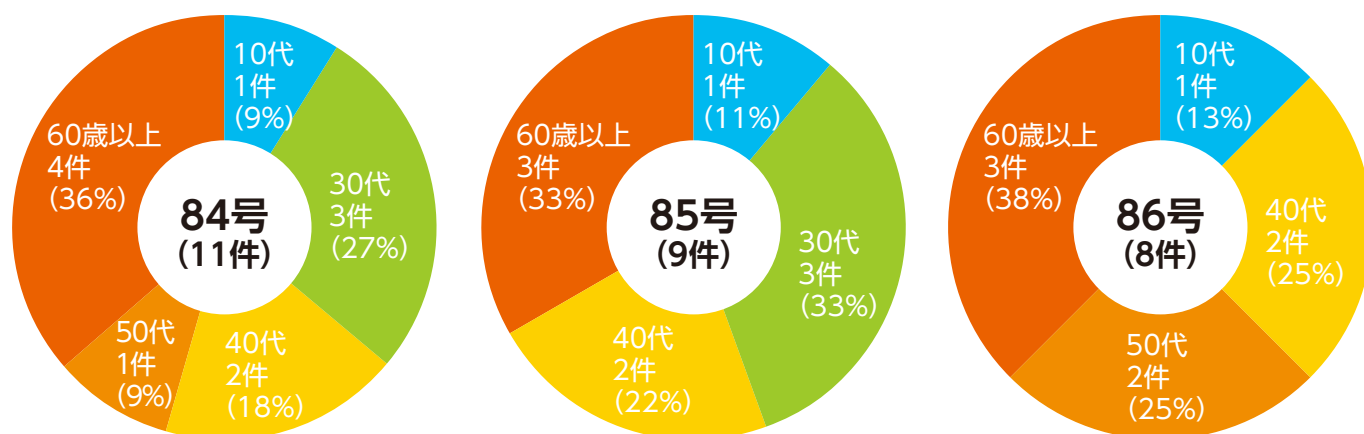


議会だよりアンケートにご協力 ありがとうございました!

議会広報常任委員会では、多くの市民の方が市議会に関心を持っていただけるように、より効果的な情報発信を行うため、議会だより84号から86号にかけて計3回アンケートを実施しました。3回で合計28件の回答をいただきました。いただいた回答につきましては、以下のとおりまとめましたので、ご覧ください。市議会に少しでも関心を持っていただけるように、アンケート結果やご意見を参考にしながら、開かれた議会を目指し、今後も積極的な情報発信を行ってまいります。

● アンケート回答数 84号…11件 85号…9件 86号…8件

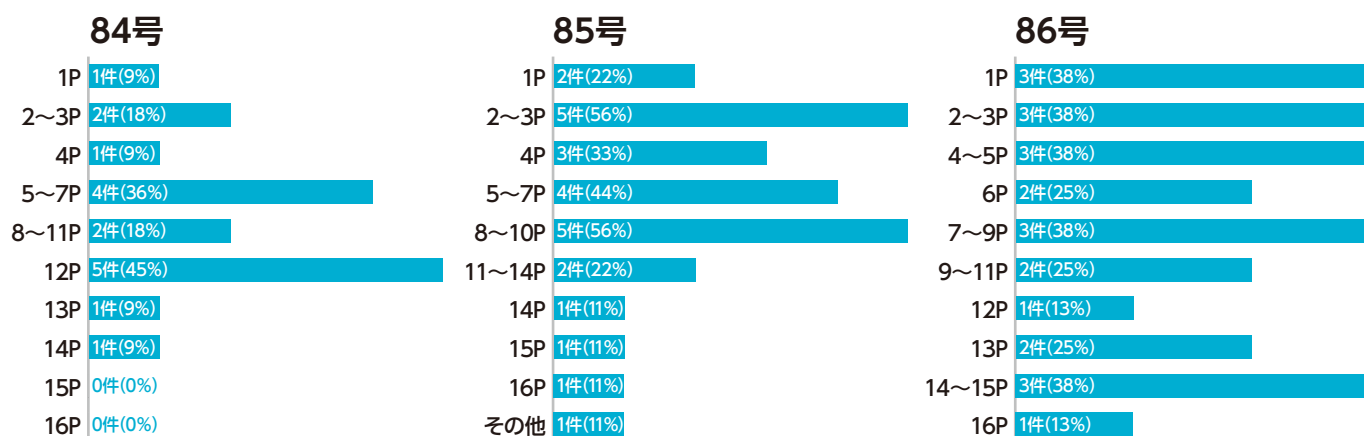
① 回答者の年代



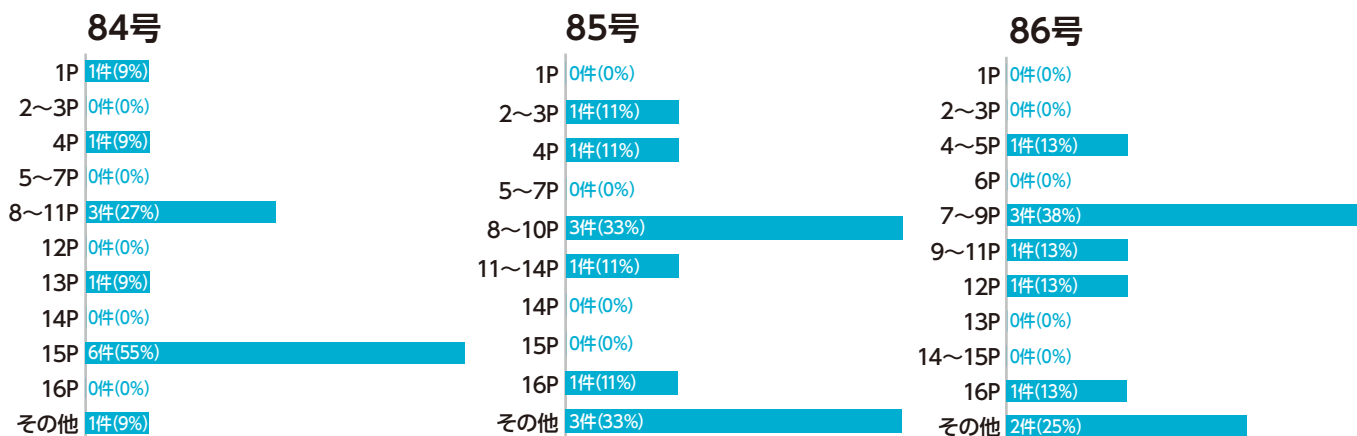
② 議会だよりを読む頻度

	84号	85号	86号
読んだことはない	0	0	0
初めて	2	1	0
ときどき	4	3	4
毎回	5	5	3

③ 良かった (わかりやすかった) ページ



④ 見づらかったページ



ウェブアンケートを3回実施し、3回ともに回答をいただくことができました。

これからの紙面の改善につなげるための貴重な資料とさせていただきます。特に、毎号、自由記載であるその他の意見では、市や議会への要望も含まれますが、議会だよりそのものに対するご意見の方が多く、一つ一つのご意見はより分かりやすい紙面作りに向け、掘り下げて検討する必要があります。

議会活動の「見える化」の推進につなげていくため、工夫を重ね、改善に努めてまいります。

行政視察を受け入れました

日程 令和8年1月20日

愛知県瀬戸市議会 総務生活委員会(10人)

瀬戸市議会広報委員会の8名と事務局2名の10名が甲斐市を訪れ、「ふるさと納税及びガバメントクラウドファンディング等の新たな歳入の確保」について、活発な意見交換が行われ、その後建設中のしのはら公園を視察しました。



議会を傍聴してみませんか!

手続きは簡単です。本会議の当日、傍聴人名簿に氏名・住所・年齢を記入していただくだけです。議会を傍聴することは市政を知る良い機会ですので、ぜひお越しください。また、傍聴席には字幕モニターを設置しておりますので、ご活用ください。

令和8年 第2回定例会 の日程(予定)

※日程等に変更がある
場合もあります。

日	月	火	水	木	金	土
6/21	22	23	24 本会議 (議案上程等・ 一般質問) 10:00~	25 本会議 (一般質問) 10:00~	26 本会議 (一般質問) 10:00~	27
28	29 厚生文教常任委員会 9:30~ まちづくり環境常任委員会 13:30~	30 総務常任委員会 9:30~	7/1 委員会予備日	2 本会議(採決) 15:00~	3	4

※傍聴に際し、手話通訳が必要な方は、障がい者支援課へお申込みください。

TEL.055-267-7287
FAX.055-276-2113
メール:kai-shuwa@i.softbank.jp

仕事承り中

仕事のご依頼はお気軽にお電話でご相談ください

主な仕事内容

- ◆草取り、草刈り、植木の手入れ
- ◆襖・障子・網戸の張り替え
- ◆家事サービス(洗濯、掃除、買い物)

会員募集中

健康で働く意欲のある、60歳以上の甲斐市、中央市、昭和町内在住者

公益社団法人 峡中広域シルバー人材センター
〒400-0115
山梨県甲斐市篠原2644-3 ☎055-279-6626
ホームページ URL <https://webc.sjc.ne.jp/kyochu/>

土地・建物の登記のことは
土地家屋調査士にお任せください。

土地家屋調査士 **秋山信仁事務所**

〒400-0117 山梨県甲斐市西八幡2599-1
TEL 055-276-9584 FAX 055-276-9582
E-mail nh-akiyama@festa.ocn.ne.jp

有料
広告

世紀を超える土木構造物の
創造を目指して



建設コンサルタント登録 建05第9136号
測量業 登録第(4) - 31653号

〒400-0104
山梨県甲斐市龍地6457-1
TEL 0551-35-9311 FAX 0551-35-9312

青柳印刷株式会社

PODshop プリントオンデマンド
shop.aoyagi-insatsu.com

- ・ポスター ・封筒 ・冊子
- ・名刺・カード ・クリアファイル
- ・チラシ・耐水紙 など

上記インターネット(PODshop)からでも
ご注文いただけます!



各種印刷物、おまかせください!

〒400-0125 山梨県甲斐市長塚526
TEL 055-277-5511 FAX 055-277-9201

☎0800-800-9881 <https://aoyagi-insatsu.com>



議会広報常任委員会

委員長 保坂康	委員 加藤敬徳
副委員長 安倍健治	委員 谷口和男
委員 若尾彰子	委員 小澤重則

甲斐市議会だよりの有料広告に
関するQRコードはこちら



発行日/令和8年4月25日
発行人/議長 秋山 照雄

発行/甲斐市議会 〒400-0192 山梨県甲斐市篠原2610番地 TEL(055)278-1673
編集/議会広報常任委員会



この印刷物は、環境にやさしいベジタブルオイルインキで印刷しています